〝港区の玄関〟美しく

住民・企業・行政が一体活動

「港区の玄関口を美しく」と五月一日、築港・天保山地区の主要通りである「花の海遊ロード」で、住民・商店・企業・行政などが一体となって清掃や放置自転車対策などを行いました。

同地域では一昨年、住民・商店会・企業・行政などが「花の海遊ロード美化協議会」を結成し、美化活動を重ねてきましたが、「黄金週間にもっとアピールしようや」と、同会定例の清掃活動と「港区自転車適正利用対策協議会」（昨年発足）による放置自転車対策の取り組みを合同で行うことになったものです。

地域一体で取り組まれた築港・天保山エリアの美化活動（写真は放置自転車に啓発絵符つけを行う参加者）

◆清掃や自転車対策

午後四時に地下鉄大阪港駅西口前に集合した約八十人は、みなと通や花の海遊ロードを移動しながら、①放置自転車への啓発絵符付け②歩道の清掃③違反看板の撤去啓発―などを行い、併せて歩行者への啓発グッズ配布やパトカー・青パトによる啓発放送も実施されました。このあと港警察署が交通安全指導を行い、築港小生涯学習ルームはエイサー踊りを披露。最後に田端尚伸港区長が「地域の縦・横の連携による盛り沢山な活動で、住む人が誇りに思い、訪れる人が魅力を感じるまちづくりへ大きなステップになった」と参加者の労をねぎらいました。

◆アピールでき良かった

この取り組みに「民生委員・児童委員」の襷を着けて参加した六十代女性（築港）は「放置自転車をなくす活動には二年ほど前から参加してきましたが、段々とその成果が表われてきているようです。今日は清掃や交通安全などを組み合わせて行なったことで、たくさんの人たちにアピールすることが出来、とても良かったと思います」と話していました。

ルール学び直せた！

磯路で自転車交通安全教室

「意外と知らない自転車ルールが学べた」―。五月十九日、みなと生協診療所（磯路3）で「自転車交通安全教室」が開かれ、四十数人が参加しました。

◆自転車は車道が原則

このうち港交通安全協会による講習と映画上映では「自転車は車道が原則で歩道は例外」「歩道を走る場合は必ず車道側を」「死者の多くは頭部に致命傷を負っているので、特に子供はヘルメット着用を」などが強調され、参加者からは「歩道での自転車の走り方など、思い込んでいたのと違うルールが学べた」「夜間の無灯火走行には腹が立つ。罰金を取ればよい」などの意見が出されました。

「意外と知らないルールが学べて良かった」と好評だった「自転車交通安全教室」

◆事故多発地点を紹介

また同診療所スタッフからは、アンケート調査の結果として「事故に遭った人の三割以上が六十歳以上の高齢者」「負傷箇所は顔の下半分が多い」などが報告されると共に、事故多発地点として「JR弁天町駅前の大交差点」「関西スーパー北側のガソリンスタンド横」などが挙げられました。

参加者からは「JR弁天町駅前の地下道は雨の日は特に滑りやすくて危ない」「携帯電話を使いながらの自転車運転は特に厳しく取り締まりを」「JR弁天町駅前交差点をスクランブル方式にという要求運動を検討しているので協力を」などの意見が出されました。

◆もっと多くの人に

熱心に聴きながら質問もしていた下村絹子さん（六九）（三先）は「ヘルパーの仕事で港区中を自転車で走り回っていること、最近交通事故が多発していること、友だちが自転車事故で怪我したことなどから、『もう一度きちんとルールを知っておこう』と参加しました。これまで間違って思い込んでいたことについて、『歩道を走る時は車道側を』などと正しく学び直せ、とても良かったです。こういう機会を増やして、もっと多くの人たちにルールを学んでもらいたいです」と話していました。

海遊ロードほんわか

ベンチ型フットライト設置

「築港の中心通りを一層明るく」とベンチ型フットライトが花の海遊ロードに設置され、五月二十五日、点灯式が行われました。

設置されたベンチ型フットライトを喜ぶ今村未吉・花の海遊ロード美化協議会会長㊥と田端尚伸・港区長㊧

主催の花の海遊ロード美化協議会・今村会長が「寄付金など地域の協力で実現した」、田端区長が「温かな光は住む人や訪れる人の心を一層和ませるだろう」、築港小・橋本校長が「フットライトで子供らの地域への想いはさらに強まる」と挨拶。七時すぎ、今村会長らがボタンを押すと十五基が一斉に白い光を放ち、拍手が起こりました。会員の河合花子さん（七九）、中川衛子さん（七四）は「築港小で育て、植えた花の横にライトが設置され、互いに引き立て合っているよう。感無量です」と話していました。

同協議会は平成二十一年に設立。地域一体で同ロード美化に取り組んできましたが、フットライト設置はその一環。「天保山地区活性化のための寄付金」（大阪港振興協会が創設）などを活用して実現しました。

相の手で盛り上がる

八幡屋で「澪の会」が民謡発表会

港区の民謡同好会「澪の会」が五月二十三日、八幡屋商店街「ほのぼのプラザ」で発表会を行い、大勢の参加で盛り上がりました。港区社会福祉協議会と同プラザ桜木代表企画による「ほのぼのつどい」三十七回目。

メンバーの米田見戸里さん（代表・津軽三味線）、木村美津子さん（津軽三味線）、原美佐子さん（太鼓）、池内相子さん（唄）、勝部泰臣さん（世話役）が紹介されたあと、陽気な花笠音頭を皮切りに、ソーラン節、真室川音頭など日本各地の民謡が次々と披露され、参加者は手拍子や相の手を入れながら声を合わせました。

途中には米田さんと木村さんが「荒城の月」などを合奏。独特の音色と見事なバチさばきに拍手が起こりました。最後は相の手の練習の後で津軽民謡を全員合唱。大きな盛り上がりのうちにお開きとなりました。

終演後、参加者は口々に「手や口を動かして、良く笑った」「歌詞を字で見て意味がよく分かった」「唄い手の笑顔に惹き込まれた」などの感想を語り、港区社会福祉協議会の荻野和代さんは「やっぱり参加型が一番。一体感が感じられ、とても良い雰囲気でした」と話していました。

澪の会は池島の老人会を母体に区内の民謡愛好者によって平成二十一年結成。介護施設などでボランティア演奏会を続けています。

手拍子を得て「花笠音頭」などの民謡を次々と演奏する「澪の会」メンバー

みなとタイムスリップ

団塊つれづれ草

交通科学博物館 課長 細川武志

⑬

「どないなってんの？」図書館で借りた演歌のCDを夜更けに聴いていたら、隣室でくつろいでいたはずの妻がばっと襖を開けたので、あわてて音量を下げました。妻には歌謡曲、特に演歌ぎらいを公言しています。実際、惚れた腫れたの演（怨）歌や、あなた想って北の果てで泣いてます…風のド演歌などは敬遠していました。

年を重ねるというのは恐ろしいものですね。そんな演歌も芦屋雁之助の『娘よ』や大泉逸郎の『孫』を聞くと、実体験もあり、しみじみとしてしまいます。近頃ではひそかにフランク永井の『大阪ロマン』など大阪ものにはまっています。

子供時分には、もはや戦後でないとばかりに数々の歌謡曲がラジオなどを通じて耳に入ってきました。春日八郎、三橋美智也、三波春夫、美空ひばりなどが大活躍。しかし一方では、洋楽ポップスのコニー・フランシスの『バケーション』やポール・アンカの『ダイアナ』、ニール・セダカの『恋の片道切符』などの目新しさ。私はこのポップスに夢中でラジオにかじりついていました。歌謡曲（演歌）が何とも古くてダサいように思えました。

ベンチャーズが一九六五年に来日した際はフェスティバルホールに行き、エレキサウンドの虜になり、ビートルズの登場と数々のヒット曲には衝撃を受け、学校の帰りには市岡にあった元町レコード店でレコード漁りをしたものです。フォークソングやGS、ニューミュージックなど数々の音楽シーンを経て今はひそかに隠れ演歌派です。

先日、TVの『徹子の部屋』に舟木一夫が出ていました。相変わらず若い（若作り？）ですね。むさ苦しい男子校に通い、フォークダンスなどは夢の世界だった私には『高校三年生』の歌詞は今も切ないです。（つづく）

洋楽ポップスから演歌へ…加齢は恐ろし

洋楽ポップスに夢中の若者がいつしか歌謡曲ファンに。『高校三年生』の歌詞は今も切なくて…（写真は現在の舟木一夫）

赤ちゃん遊んでます！
～みんなキラキラしています～
基準保育
9～16時(8～18時も可)
保育料
収入や家庭事情により決定（市から補助あり）

♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪
♪ピアノおしえます（中学生以上）♪
大阪市承認 人見ベビーセンター
☎6574-3423（東條）港区磯路2-10-1 電話はPM4:30～

パソコントラブルレスキュー

パソコンに関することなら、すべておまかせください。
矢野システム研究所
▶パソコンが起ちあがらない
▶データを消してしまった、消えてしまった
▶ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
▶ウィルスが進入して困った、どうしよう
▶外国船のパソコンが調子悪い、助けて！
港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

次世代に戦争体験等を伝えよう！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
理不尽な制裁に自殺も考えた初年兵時代。敵兵処刑や毒ガス使用に疑問も感じなかった戦場の日々。人が人でなくなる戦争の恐ろしさを子や孫に残しておきたいと書きためた文章を整理・加筆して頂き、立派な冊子にすることが出来ました。感謝しています。（90代男性）
★文書全般の代筆も承ります★
港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636